

教育研究データ			
1. 氏名	八島 等		
2. 生年月	1960年7月		
3. 取得学位	修士(教育学)		
4. 教育業績			
教育上の能力に関する事項	年月	概要	
(1) 教育内容・方法の工夫	2022年4月	① TOEIC I・III、英語学基礎演習 I において、毎回の単語の意味の小テストを実施することで、語彙力を強化・定着を図っている。また、リスニング力を上げるために、速度の調整や聞かせる回数の工夫をしている。	
	2019年4月	② オフィスアワーにおいて、授業等の質問を受けつけている。	
(2) 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2003年8月	① 授業内評価や考査におけるテスト作成の工夫についての提案をした。(関東甲信越英語教育学会第27回栃木研究大会)	
	2020年12月	② 広島県立広島工業高等学校の教職員研修会にて、「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善と評価」という題目で講演した。	
5. 研究業績			
(1) 著書	単著 共著 の別	発行の 年月	発行所
① 高校英語教育構造改革論	共著	2001年 11月	開隆堂出版
② 英語診断テスト開発への道—ELPA「英語診断テスト」プロジェクトの軌跡—	共著	2006年 9月	NPO 法人 英語運用能力評価協会(ELPA)
(2) 学術論文	単著 共著 の別	発行の 年月	掲載紙および巻/号, 頁
① Word inference ability in Japanese EFL learners	単著	2001年 3月	ARELE 12, 101-110 頁
② 日本人高校生の語彙サイズ	単著	2002年 3月	『関東甲信越英語教育学会研究紀要』第16号, 29-41 頁

③ Factors affecting guessing unknown word meanings from context	单著	2002年 3月	<i>ARELE 13</i> , 151-160 頁
④ Analysis of senior high school students' ability to guessing unknown word meanings from context	单著	2003年 3月	<i>ARELE 14</i> , 161-170 頁
⑤ 日本人高校生における推定語彙サイズと「聞くこと」と「読むこと」の力との関係	单著	2005年 3月	『関東甲信越英語教育学会研究紀要』第19号, 47-58 頁
(3) 研究・作品発表	発表の年月		発表学会等
① 学習者向け英字新聞に対する CEFR-J の有効度に関する研究	2022年8月		JACET 第61回国際記念大会 (オンライン開催)
② 出現頻度から見た CEFR-J の学習者向け英字新聞に対する有効性	2022年10月		日本教科教育学会第48回全国大会 (愛媛大学)
(4) 所属学会			
① 全国英語教育学会			
② 関東甲信越英語教育学会			
③ 日本教科教育学会			
④ 中国地区英語教育学会			
⑤ 大学英語教育学会			